

兵庫県水産技術センターだより

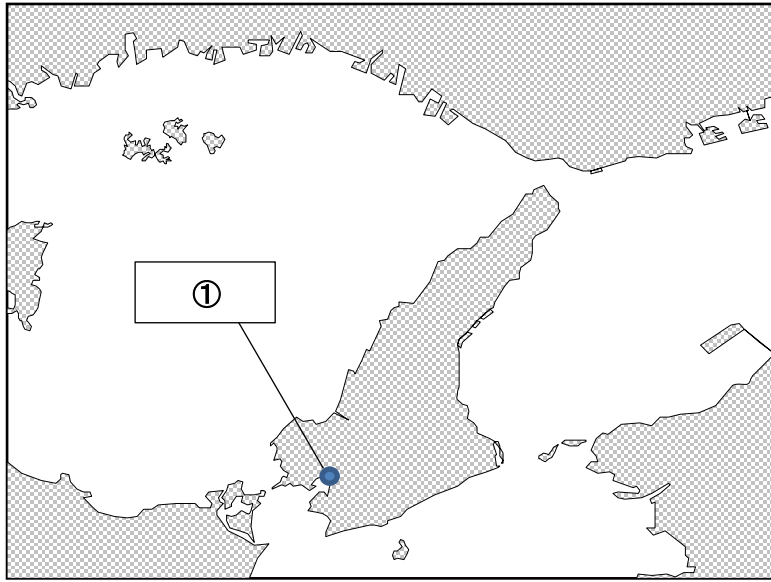
赤潮情報 AK-05-22 号 (紀伊水道：臨時)

令和5年10月3日発行

10月1日～3日に赤潮プランクトン調査（紀伊水道：臨時調査）を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン（カレニア・ミキモトイ）が10/1に確認され警戒体制値を超えていました。10/2には減少していましたが活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分にご注意ください。
- ・赤潮の発生しやすい時期を迎えていますので、引き続き海況や海色の変化にご注意願います。高密度化した海域（港湾内等）では、赤潮消滅後の溶存酸素の低下（酸欠）にもご注意ください。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値

注意体制： 10 細胞/ml 警戒体制： 100 細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制： 500 細胞/ml 警戒体制： 5,000 細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制： 50 細胞/ml 警戒体制： 500 細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果（海水1ミリットルあたりの細胞数）

調査地点（採水日）	水深（m）	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・カバタ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・ベリキュロサ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	ヘテログラ・アガオ
① (10/1)	0	0	6,250	0	0	0	0	0	0
① (10/2)	0	0	21	0	0	0	0	0	0
① (10/2)	中層	0	46	0	0	0	0	0	0

※本調査は、JF 福良が10/1に採水した海水と、洲本農林水産振興事務所が10/2に採水した海水を、水産技術センターで検鏡調査したものです。

【今後の調査予定】 臨時調査した場合は別途お知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター（担当：水産環境部 妹背、中桐）
Tel：078-941-8602 Fax：078-941-8604 Homepage：http://www.hyogo-suigi.jp/